



2022 年が始まりました。今年もよろしくお願いします。どうぞ良い年になりますように。

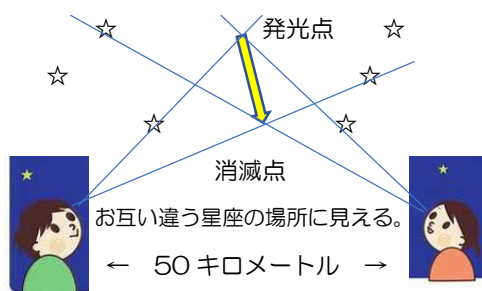
【流星はどの辺りを飛んでいる？】

2021 年は、私にとって、天体観測の分野がまた一つ広がった年でした。特に、流星観測では、仲間がそれぞれお気に入りの観測場所があり、それぞれが勝手に宮城県内の観測場所へ散っていき、観測をしています。

そうすると、必然的に各々が50km前後離れたところから観測することとなり、同じ流星を違う場所から観測する偶然の機会が何度も訪れることになりました。

流星が光り始めるところを「発光点」、消えるところを「消滅点」と言います。発光点の地上からの高さは、流星にもよりますが約100km～80km前後、消滅点の高さは約80～50km前後になることが分かっています。

流星が飛んでいる場所が地球上のどの辺りか分かると万一流星物質が地上に落ちてきたとき、どの辺りに落下し転がっているか分かり、探すのも楽ですね。反対にその経路を上へ上へと宇宙に延ばしていったら、その流星が宇宙のどこから飛んできたか、経路と起源が分かります。分かると言っても数学の複雑な計算を駆使して求めています。



【昨年の観測数と同時流星数】

先ほど「私の仲間が50キロ前後離れた場所でそれぞれに観測している」という話をしました。すると、同じ時刻に飛んだ同じ流星を二人で観測することができます。全くの偶然を待って、たまたま二人が同じ流星を観測するわけですから、確率はかなり低くなることが分かります。

でも、その確率をなるべく上げたいですね。そこで、流星がたくさん飛ぶ流星群の時期をねらって写真観測をします。

2021 年観測した流星群

流星群名	観測日	同時流星
しぶんぎ	21.1.2~4 (2日)	—
こと	21.4.23(1)	—
みずがめ η	21.5.3-4(1)	—
やぎ α ・	21.8.1-7(4)	—
ペルセウス	21.8.11-12(1)	1
はくちょう	21.8.18-19(1)	—
オリオン	21.10.21-24(2)	—
おうし南・北	21.10.29-11.19(12)	1
しし	21.11.17-18(1)	—
ふたご	21.12.13-15(2)	(3)
計 10 流星群	計 27 日	5 本？

【同時流星の写真と飛んだ場所】

ふたご座流星群 12 月 15 日 5:18

赤いラインが流星経路

